

台湾日語教育学会・輔仁大学日本語文学系

2021 年度台湾日本語教育研究国際學術シンポジウム

「with コロナ時代の日本語教育を目指して」

日時：2021 年 11 月 27 日（土）

場所：輔仁大学 徳芳外語大樓

〔プログラム〕



0830-0900	受付	輔仁大学 徳芳外語大樓	
0900-0915	開会式	会 場	輔仁大学 徳芳外語大樓 FG507 教室
		司 会	覃顯勇(台湾日語教育学会副秘書長)
		開会の辞	楊錦昌(台湾日語教育学会理事長)
			劉紀雯(輔仁大学外語学院院長)
			村嶋郁代(日本台湾交流協会広報文化部部長)
0915-1015	基調講演 1	会 場	徳芳外語大樓 FG507 教室
		司 会	頼振南(輔仁大学教授)
		講演者	緒方広明(日本京都大学教授)〔リモート講演〕
		題 目	日本語教育のための情報工学の応用
1015-1030	記念写真撮影		
	休憩時間〔ティー・ブレイク〕		
1030-1130	基調講演 2	会 場	徳芳外語大樓 FG507 教室
		司 会	落合由治(淡江大学特聘教授)
		講演者	和田勉(日本長野大学教授)
			〔リモート講演：参加者はパソコン持参が望ましい〕
		題 目	情報を専門としない学生の教養としてのプログラミング教育
1130-1135	休憩時間		
1135-1205	招待講演	会 場	徳芳外語大樓 FG507 教室
		司 会	黄翠娥(輔仁大学教授)
		講演者	張根壽(韓国日語教育学会会長)〔リモート講演〕
		題 目	韓国の日本語研究の現状 —文法と日本語教育を中心に—
1205-1315	1 会員大会 徳芳外語大樓 FG507 教室 2 昼食 (会場 FG306-308)	ポスター発表 (会場 FG302)	

1315- 1320	論文発表 1 会場 (FG302) 司会 邱若山 (静宜大学教授兼日 本語文学系主任)	論文発表 2 会場 (FG303) 司会 王世和 (東呉大学教授兼外 語学院院長)	論文発表 3 会場 (FG202) 司会 林立萍 (台湾大学教授兼日本 研究中心主任)	論文発表 4 会場 (FG204) 司会 賴錦雀 (東呉大学特聘教授)
1320- 1340	范淑文 (台湾大学教授)	羅曉勤 (台中科技大学副教 授)	佐藤良子 (東海大学助理教授) 工藤節子 (東海大学助理教授)	川口慶子 (韓国崇實大学助教 授)
	ポストコロナ時代を 生きる—文学研究者 の試みる姿勢—視点 の変わり	新学習指導要領導入 前後の台湾中等教育 日本語教師研修の現 状及び意味	COIL 型学習の質の向 上のための基礎研究	韓国における継承日 本語の言語的特徴に ついて—接続助詞の 習得を中心に— 〔招待論文〕 〔リモート発表〕
1340- 1400	齋藤正志 (中国文化大学教授)	落合由治 (淡江大学教授)	中村祥子 (輔仁大学副教授)	質疑応答
	川上弘美『水声』の 〈夜に鳴く鳥〉の跨 領域的可能性—ウイ ズコロナ時代の日本 語教育における古典 と現代の共鳴—	情報処理技術教育の 日本語文科学科への導 入	分かち合うための言 語交流—2020年コロ ナ下でオンライン姉 妹校交流実践から学 んだこと—	
1400- 1410	質疑応答	質疑応答	質疑応答	
1410- 1415	休憩時間			
1415- 1420	論文発表 5 会場 (FG302) 司会 中村祥子 (輔仁大学副教授兼 進修部日文系主任)	論文発表 6 会場 (FG303) 司会 范淑文 (台湾大学教授)	論文発表 7 会場 (FG202) 司会 馮寶珠 (輔仁大学副教授)	論文発表 8 会場 (FG204) 司会 齋藤正志 (中国文化大学教授)
1420- 1440	葉菱 (淡江大学助理教授)	曾秋桂 (淡江大学教授)	吳翠華 (元智大学副教授) 林淑璋 (元智大学副教授) 黃怡錚 (元智大学助理教授)	鄭家瑜 (政治大学副教授)

	with コロナ時代における自然な発話への試み	世界をジブンゴト化する日本語翻訳授業デザイン—SDGs と AI 技術の融合—	応用外国語学生の分野横断的な能力育成の授業実践—「マルチメディア教材制作」授業を例に	古典文法教学の挑戦と課題—政治大学日本語文学科の「日本古典文法」を例として—
1440-1500	横川彰 (静宜大学講師)	黄翠娥 (輔仁大学教授) 施列庭 (輔仁大学副教授)	簡曉花 (中華大学教授) 張欽智 (中華大学助理教授)	陳文瑤 (東海大学副教授)
	コロナ禍においてのハイフレックス授業から見えた成果と課題	日中翻訳の教室での試み—共通ノートの導入を例に—	Moodle に基づいた PBL 経路構築で支えた「日本社会と流行文化」の授業	オンライン授業を取り入れた「日本歴史」
1500-1510	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1510-1520	休憩時間 [ティー・ブレイク]			
1520-1525	論文発表 9 会場 (FG302) 司会 黄英哲 (台中科技大学副教授)	論文発表 10 会場 (FG303) 司会 陳志文 (高雄大学教授兼語文中心主任)	論文発表 11 会場 (FG202) 司会 林長河 (銘伝大学教授兼応用日語学系主任)	論文発表 12 会場 (FG204) 司会 羅曉勤 (台中科技大学副教授)
1525-1545	馮寶珠 (輔仁大学副教授)	王淑琴 (政治大学教授)	小針浩樹 (輔仁大学副教授)	石川隆男 (輔仁大学助理教授)
	AI 技術による複合動詞の考察—日本語学習者の作文を例にして—	外来語の自他両用動詞の使用傾向—BCCWJ の調査から—	日本語教材の活用法	個の生きる力—コミュニケーションのためのコンフリクト力
1545-1605	城戸秀則 (東呉大学博士課程)	覃顯勇 (輔仁大学助理教授)	陳冠霖 (東呉大学助理教授) 黃竹佑 (名古屋学院大学助理教授)	清水裕美子 (輔仁大学助理教授)
	「～ておきます」の扱い	日本語教育からの当て字について—『浮雲』を中心に—	台湾におけるオンライン音声知覚実験の応用について	コロナ時代に必要とされる日本語人材
1605-1615	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1615-1620	休憩時間			

1620- 1710	パネルディスカッション (50音順)	
	テーマ：with コロナ時代の日本語教育を目指して	
会場：徳芳外語大樓 FG202 教室		
司会：楊錦昌（台湾日語教育学会理事長）		
パネリスト1 緒方広明(京都大学教授)		
パネリスト2 許孟蓉(輔仁大学日本語文学系主任)		
パネリスト3 曾秋桂（台湾日語教育学会前理事長）		
パネリスト4 張根寿(韓国日語教育学会会長)		
パネリスト5 鄭家瑜(政治大学日本語文学系主任)		
パネリスト6 八尋春海(日本比較文化学会会長)		
パネリスト7 羅濟立（台湾日本語文学会理事長）		
パネリスト8 林慧君(台湾大学日本語文学系主任)		
パネリスト9 和田勉(長野大学教授)		
1710- 1730	総合討論	
1730- 1740	閉会式	会場 徳芳外語大樓 FG202 教室 司会 黄佳慧（台湾日語教育學會副秘書長） 閉会の辞 許孟蓉（輔仁大学日本語文学系主任）

1750- 1930	懇親会	会場 輔仁大学 徳芳外語大樓 FG507 教室
---------------	------------	-------------------------

1205- 1315	〔ポスター発表〕 (50音順) 会場 (FG302) 魏思嘉（輔仁大学修士課程） ：日本語複合動詞「～出す」の考察—BCCWJ コーパスの用例を中心に— 莊羽諤（輔仁大学学生） ：太宰治「桜桃」論 — まなざしの劇に絡まれる父としての男 — 李奇峯（台湾大学修士課程） ：類義接続詞「ただ」と「ただし」に関する一考察 林恆立（靜宜大学助理教授） ：新型コロナウイルス感染予防対策情報を活かした初中級文型の導入 盧映慈（銘伝大学修士課程） ：日本語学科の卒業生の就職選択調査	
---------------	--	--

主催：台湾日語教育学会・輔仁大学日本語文学系

助成：科技部、教育部、独立行政法人国際交流基金、輔仁大学研究發展処

後援：公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所、輔仁大学外国語学部、韓国日語教育学会、日本比較文化学会、台湾日本語文学会